

教育DXレポート

「ICTの課題を解決！ 学校に合わせたICT支援員派遣」

ICT機器の普及が一般的となり、どのように使うかが重要となりました。活用が進む中、課題は学校によってそれぞれになるかと思われまます。そんなICTの課題に対してICT支援員の需要が高まる昨今ですが、ICT支援員を入れれば必ず解決！というわけにはいきません。ICT支援員は目的に合わせて導入することでより効果を発揮します。

用途に応じたオプション選択

学校で今一番のICTに関する困りごとは何でしょうか。機器の活用が進まない、トラブル対応が処理しきれない、端末管理ができないなど課題は様々かと思えます。これらを解消するためにもICT支援員は必要不可欠、ですがここで重要なのがICT支援員に何をしてほしいかです。ICT支援員を検討している学校でお願いしたい作業として挙げられるのは機器のトラブル対応と管理についてです。この部分は先生の時間がとられやすく、またICT機器活用とは切っても切れないため、その点を重視するのは当然といえます。こうした対応を期待する場合、必然的に常駐、ないし、週3日以上勤務形態での想定が多いです。常駐の支援員の場合、故障対応などのトラブル対応をしつつ、スキルによっては授業や校務のサポートも期待できます。いつもいることによって安心してICT機器を利用できる環境であれば、より活用が進むでしょう。

こうした人材は望まれる一方、期間が多くなれば費用は上がりますし、何より条件に合う支援員が必ず見つかるとも限りません。そこで目的に応じて短期間、または少ない回数で勤務する形も候補になります。

短期間でのICT支援員の派遣の場合は、月に数回の訪問で先生からの活用に関する質問対応や、実際に授業を見てアドバイスをするといった内容が中心となります。特定の内容に絞って研修をするなども可能なため、今の活用で困っていることや足りていないことに焦点を当てて検討するとより良いでしょう。一方で期間が短かったり、学校にいる期間が短いため、トラブル対応といった内容には不向きといえます。この点を考えてICT支援員の導入の仕方を決めていきましょう。

派遣の強みと支援員スキル

ICT支援員といってもスキルは様々です。優秀な人材であれば様々な事柄に対応できますが、そうした人材は限られます。そこで人材派遣という形でICT支援員の派遣するスタイルが注目されています。ICT支援員を派遣とする場合、トラブル対応で支援員個人で対応が難しい場合も、派遣元に情報を共有することで解決策を見出すことができます。これはICT支援員を多数派遣することでその知見が集約されているため、幅広い対応が期待できます。個人で何でもできる人材の獲得は難しくとも、こうした形で様々な問題に対応できる支援員を用意することができます。また、必要に応じて欲しい人材を相談することができるため、普通に募集をかけるよりの確な人材を見つけることができるかもしれません。ぜひ一度ICT支援員の派遣についてご検討いただければと存じます。

実際にICT支援員を導入している
学校の事例はこちら→



ICT活用研修企画 教員研修講師派遣

授業での活用はもちろん、授業外での活用法など様々な観点から学校の課題に合わせて教員研修を企画し、講師を派遣します。
私立学校（学校法人）のみならず、自治体・教育委員会、公立学校からのご依頼実績も豊富にご覧いただけますので、お気軽にお問い合わせください。



ICT支援員・活用アドバイザー

コアネット教育総合研究所では、長年蓄積したノウハウを携え、ICT環境整備や授業でのICT活用など教育ICTに関するあらゆる場面で適切なサポートやアドバイスを請け負っています。貴校のICT導入・活用の状況に応じてご支援内容をご提案いたします。



FAXでのお問い合わせはこちら

FAX:045-914-3015

学校名		
ご担当者氏名	(お役職)	(ご氏名)
ご連絡先 TEL		
ご連絡先 E-mail		

お問い合わせはこちら

住所 〒224-0003
横浜市都筑区中川中央1-26-10

TEL 045-914-3005
(担当：岡田、川田)

E-mail info@core-net.net

ICT活用に役立つ情報公開中

URL www.core-net.net/ict/

教育と学校経営専門のシンクタンク&コンサルティング企業



コアネット教育総合研究所

